

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		8-	3
事業名	障害者自立支援事業	会計	款	項	目
施策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	一般	3	1	1
施策	3-4 障がい者福祉の推進	課名	地域福祉課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障がいのある方とその家族	目的 (対象がどのような状態になっているか)	障がいのある方とその家族が、地域で自立した日常生活や社会生活を営み、安心して暮らせるよう支援する。
事業内容	・障がいの状況やニーズ等に応じたサービス利用計画を立て、障害者総合支援法及び児童福祉法に規定する自立支援給付、障害児通所給付及び補装具給付等の各種障害福祉サービスの給付を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
2								
3								
4								
5								
			令和4年度 (決算)		令和5年度 (決算)		令和6年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			684,072		761,387		795,401	
財源 内訳	直接事業費 A		674,922		754,415		788,273	
	うち一般財源		218,011		210,521		201,933	
人件費 (千円) B			9,150		6,972		7,128	
内訳	一般職員 (人・千円)		1.25	8250	0.92	6072	1.08	7128
	臨時職員 (人・千円)		0.5	900	0.5	900	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	複雑、専門化していく個々への対応について、提供体制の強化 (委託も含む) をしていく必要がある。また、相談支援専門員の確保が困難な状況になっているため、今後の対応を検討していく。	③取組の課題	障害福祉サービス (扶助費) は、今後も増加が見込まれ、個々への対応も複雑化している。
②R5年度に実施した取り組み	障害総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害福祉サービスを提供した。	④今後の改善計画	複雑、専門化していく個々への対応について、提供体制の強化 (委託も含む) をしていく必要がある。また、相談支援専門員の確保が困難な状況になっているため、今後の対応を検討していく。